

令和6年度 自己評価結果公表シート

茨木みのり幼稚園

スローガン

- ・ みんなであそぼう！おおきくなろう！
遊べる子どもになろう
豊かな体験
生きる喜びを

1. 教育理念

- ・ 人と人がかかわって豊かな遊びが発展していく環境を作る。
- ・ 子供の主体性や感性、知性そして人間性を育む教育の実践

2. 教育目標

- ・ ひとりひとりの個性を大切にしながら、明るく生き生きとした子どもの育成に努めます。
- ・ 基本的な生活習慣、態度を育て健康で丈夫な身体をつくります。
- ・ 自分で考えて行動できる力を養います。
- ・ 人との関わりの中で社会性、協調性を養います。
- ・ さまざまな体験を通して豊かな感性、創造性を育てます。

3. 教育方針

- ・ 子どもにとって良い環境を整え、明るく伸び伸びとした集団生活を営ませます。
- ・ ひとりひとりの子どもの発達段階に応じた保育を行います。
- ・ 様々な人や物も出来事と出会い、興味や関心を大切に、意欲や思いやりのある子どもを育てます。

4. 本年度、重点的に取り組む目標や計画（※下線が新たな取り組み）

- ・ 10の姿をより意識した活動を展開する。（継続）
- ・ 行事の在り方、取り組みの内容・開催日の調整について
- ・ 異年齢・同年齢交流 『なかよしデーの充実』
- ・ 個別支援への取り組み（情報共有と連携の強化）
- ・ 子育て支援について、活動内容の見直しへ
- ・ ICT化の導入による業務の簡素化（保護者への周知を簡略化）
- ・ 施設の老朽化、ハード面に於ける施設整備・修繕の実施へ

5. 評価項目の達成及び取り組み状況（1学期・2学期）

評価項目	取組状況
10の姿をより意識した活動を展開する	<ul style="list-style-type: none">・ 教育課程、月ごとのねらいや内容を理解し、10の姿と関連付けて保育計画が立てられ、進めていけるようにする。・ 研究保育の指導案に当てはまる項目がわかるように意識づける。
<u>行事の在り方や開催日の調整</u>	<ul style="list-style-type: none">・ 気候変動により、9月以降も残暑厳しい状況が続いた。運動会とお店屋さんごっこの開催を入れ替え、無理なく取り組めるように努める。また、お店屋さんごっこに掲示していた『絵画展』も12月へ移行することで、ゆっくり保護者子ども共に観覧頂けた。・ 子どもが自ら遊びたくなるコーナーづくりなど環境構成を工夫する。・ 伝承的な行事の実施（餅つき大会：12月開催）

異年齢・ 同年齢交流	<ul style="list-style-type: none"> ・他クラスや異年齢と触れ合うための工夫をしていく。 ・「なかよしデー」であえて異年齢が混ざって遊ぶ日を設け意図的にかかわれるように努めると共に自然なかかわりへ繋げる。 ・ふれあいおみせやさんごっこなど未就園児や地域の方と交流できる場を設ける。
<u>個別支援の取り組み</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援について、各関係機関と連携を強化し、園児が安心して園生活が送れるように努める。(視察の実施) ・連携施設からの助言をもとに個別支援計画書の作成を図る。
<u>I C T 化</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・システムを理解し、業務の効率化を図る。 ・園の書類をデータ化・管理保管を行う(紙媒体の減少へ) ・iPadを利用し、子どもの探求心・好奇心を深める機会とする。 ・保護者への発信のツールとして配布する手紙を減らし、アプリにてアンケートの実施を図る ・<u>幼稚園の活動・地域イベントの告知・情報発信を SNS にて図る(6月)</u>
<u>子育て支援について</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度まで土曜日に開催実施していた、園庭開放・親子で遊ぼう等のイベントを平日に開催する。平日に実施することで、普段の幼稚園の様子を見学出来ることが喜ばれ、沢山の方に参加いただける。 ・イベント講師にもお越し頂き、より多くの保育体験できる環境を整える。
<u>施設整備・修繕について</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化による修繕を図る。特に直接、園児に関わる箇所から実施すると共に安全性も踏まえた物品の購入、入れ替えを実施する。よりよい環境で充実した日々が過ごせるように配慮する。

6. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・行事の在り方、開催時期等を含めて年間予定を見直した結果、園児・職員共に余裕をもって取り組めた。特に夏休み期間中にて職員は計画的に準備が図れた。(お店屋さんごっこ・運動会等) ・異年齢児交流については、『なかよしデー』から自然に園児同士が関わる姿が見られる。職員間でも上手に交流が図れるように余裕をもって取り組んでいる。年長児は、お世話することで自信と繋げ、年中少は憧れを抱く姿も見られた。 ・個別支援については、各関係機関と連携が図れてきたが、個々の成長を見据えた PDCA サイクルが展開できるまでは至っていない。引き続き、各関係機関との連携をより一層、深め、園児・保護者共に安心できる環境を構築したい。 ・子育て支援の一環で講師に先生に来園頂き、イベントを実施したが大変好評であった。今後も定期的にイベントを実施すると共に地域の乳幼児が気軽に遊びに来られる環境を整える。 ・システムの導入により、業務の簡素化・効率化が図れているか分析ができていない。導入しているシステムが機能しているか、システムの変更も含めて検証する。 ・熱中症対策の強化及び、補修工事を実施する。 (ブルーシート購入・テントの設営 カーテンの取り付け等)
--

7. 今後取り組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 組 方 法
教育課程や教育目標 を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・保幼小の連携強化について具体的な取り組みの構築を図る。 ・幼少期(10の姿)の活動(カリキュラム)の導入
遊びの環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット・傷病記録より、安全に遊べる環境と職員配置を見直す
地域交流 子育て支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・在園児の活動が見られる環境を構築する。 ・乳児も参加できるイベントの企画・内容の充実を図る
I C T 化	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の簡素化につながるシステムの検証

8. 学校関係者評価委員会の意見

- ・ 園庭側の樹木が育ち電灯が隠れている為、歩道が暗い。草木の剪定をして欲しい。
→園庭側の樹木は剪定し、対応済みである。
- ・ 保幼小の連携強化について具体的な取り組みについては、小学校でも共有を図ります。
お互いに何ができるのか検討していきたい。(担当職員を決めてはどうか?)
- ・ 園児・就学時の登降園において歩道・車道の安全確保(ガードレール取り付け・看板の取り付け注意喚起等)について、茨木市へ小学校・幼稚園より、安全対策の要望書を提出する。
また、来年度より玉櫛小学校と連携して『挨拶運動』より通学路・登降園の安全確保に努める。

9. 財務状況

公認会計士監査により、適正な運営がされていると認められている。